

内部留保課税を大企業に

参院予算委 大門議員が提案

大門みきし参院議員は 25 日の予算委員会 で基本的質疑に立ち、岸田文雄首相が言及していた金融所得課税の強化を迫るとともに、大企業の内部留保に課税する党の提案を示して首相の認識をただしました。

1 億円の壁——課税強化を

所得 1 億円を超える富裕層は、そのほとんどが株取引の所得で、分離課税で低い税率が適用されています。所得 1 億円超で所得税の負担率が下がる「1 億円の壁」があり、新自由主義の弊害だと、首相も総裁選時に課税に言及していましたが、先送りしています。

追及に「まずは成長。優先順位が違う」とした首相に、大門氏は「こんなこともすぐに手をつけられないで、新自由主義の弊害、格差を是正するなどできるわけがない」と厳しく批判しました。

新自由主義転換を

大門氏は「新自由主義政策の結果、日本では富が一部の企業や富裕層に偏在し、世の中全体にお金が回らなくなった」「この 20 年以上、分配がおろそかにされてきた。だから大企業の内部留保が巨額に膨れ上がった」「まずは分配。『分配から成長』の好循環を作り出すことだ」と、大企業の内部留保への課税を提言しました。

さらに、賃上げや社会保障の立て直し、気候危機打開、ジェンダー平等の推進など「やさしく強い経済」への転換こそ求められていると主張しました。首相は「重なる部分はあるが、消費税減税などは一致できない」と述べるにとどまりました。



元民主党参院議員「聴き入ってしまった」、自民議員「中継に入れたかった」、現職大臣「勉強になりました」一質問に大きな反響

○ラジオ深夜便中断の国会中継、普通は聴きませんが、大門先生の質疑には聴き入ってしまいました。立憲民主党は大門先生みたいな論客を養成したほうが良い。（松井孝治元民主党参院議員・慶応大学教授のFBより）

○自民党のある議員は、「金融所得課税の見直し、総理によく言ってくれた。この質問こそ中継に入れたかった」（大門質問は午後 6 時までの NHK 中継に入らず深夜に放映）。

○国会の大門事務所には、ある大臣から電話。「内部留保問題、勉強になりました」。

22 近畿ブロック事務所ニュース

TEL06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 8 (2022. 2. 28)